

水属性を司る魔法少女、ルミナスアキラ。
異世界からの侵略者、コラプスの手に堕ちた
ルミナスシャドウとの戦いに敗北した彼女は今、
コラプスの拠点の一室で無機質な機械に拘束されていた。

目の前で妖艶な笑みを浮かべるルミナスシャドウを
睨みつけるルミナスアキラ。
永遠にも思える長い沈黙を破り、アキラが口を開く。



「裏切り者……！」

魔法少女が「コラプスの味方をするなんて!!」

「言ったはずですよ？」

私は「コラプトシャドウ……」

「ご主人様の忠実なる僕♥

人類の味方なんかじゃありません♥」



「大丈夫、今は分からなくても
貴女もすぐに理解できます」

「ご主人様の素晴らしさが……♡」

ガチャリ、と言う音と共に、下から現れた
奇妙な機械がアクアの下腹部へと張り付く。

「なっ……!？」

なに……これ……っ……」



「な……なに……っ!？」

「へんな感じが……昇って……んっ♡」

「今貴女に注入しているのは
私から抽出した閨属性の魔力……」

「その性質は欲望、破壊、侵食……♡
ふふっ♡ もう気持ちよくなってきたでしょうっ!」



「あっ…… はっ……
あぁ……っ♡ こんなのお……♡」

外側から入り込もうとする黒い魔力に
必死に抵抗するアクア。
しかしそんなものは無駄とばかりに
コンピュータは手元の装置で機械を操作する。



「必死に耐える顔も可愛いけど…
そんなことは無・駄♡」

「今からおまんこのぶっという方も動かして…」
「子宮に直接♡」

私の魔力を注いであげるんだから♡」

「……えっ!？」



「あっ……♡ ああ……っ♡」

「だ……ダメ……♡ 入って……こないで……あっ♡」

「ちちちちちちちちちち♡♡♡♡」



お
お
っ
♡
♡
」

「んあああああああああああ♡♡♡」

「はーっ…はーっ…♡ んんっ♡」

「ふふっ…♡ イくと同時にたっぷり魔力注入…
とっても気持ちよかったでしょう？」

「元は同じ魔法少女の魔力だから…貴女の魔力と溶け合って
貴女を私と同じ存在に変えてくれる♡」

「…でも、やっぱりこのままじゃ
時間がかかりすぎじゃないかなあ…」



新たに頭上から現れた機械が視界を塞ぎ、
耳にもヘッドフォンのような機械が装着される。

「あっ…!? な、なにこれ……」

「……うん、うん」

「わ……たし……は、ご主人さまの……」

「わたし……は……♡」

「それは偉大なるご主人様の洗脳装置……」

「貴女の頭の中をちよ……と書き換えて
私みたいなご主人様の忠実なる僕に変えてくれるの♡」



「魔力の注入も勿論続けてあげるから、
たっぷり心身共に犯されるのを楽しんでね♡」

「まあ、もう何も聞こえてないでしょっけど♡♡」

「わっ……わたしは……私はあ……!!」



「私はご主人様の奴隷…!!♡」

「私はご主人様の忠実なる僕っ!!♡♡」

「私の存在は……」

「ご主人様の為に……♡♡♡♡」



「ああ……っ♡

イクイクイク……っ♡♡♡」

「イっく……♡

「ああああああああああ♡♡♡♡♡」



「あつ…はあ…っ♡ ああ…っ♡」

「どっ？ ご主人様に忠誠を誓うのは
とても気持ち良かったでしょ？」

「今ならするべきことは分かるわね？」

「……。」

「最後の「押しは自分でするの、
そうすればもっと気持ちよくなれる」♡」

「…もっど、

「気持ちよくな…」



「あは…♡ はい、しますう♡

ご主人様の奴隷に相応しい存在に…変身…しますう♡♡♡」

「あ…はは…♡ …へん、しん…っ♡」



その言葉を発した瞬間、
それを祝福するかのようにクリスタルから
黒く染まりきった水属性の魔力が溢れ出す。

それはまるで「ルータルや重油のように」
ドロリとして、ルミナスアクアの全身を覆っていく。



「んっっ…♡ あはあ…♡♡♡」

「ずいぶん…♡

身体に…闇の魔力が張り付いて…♡」

「あ…は…っ」

「あっ…ぐ…っ

だ、ダメ…!!」



「き、気持ちいいのはもう嫌!!」

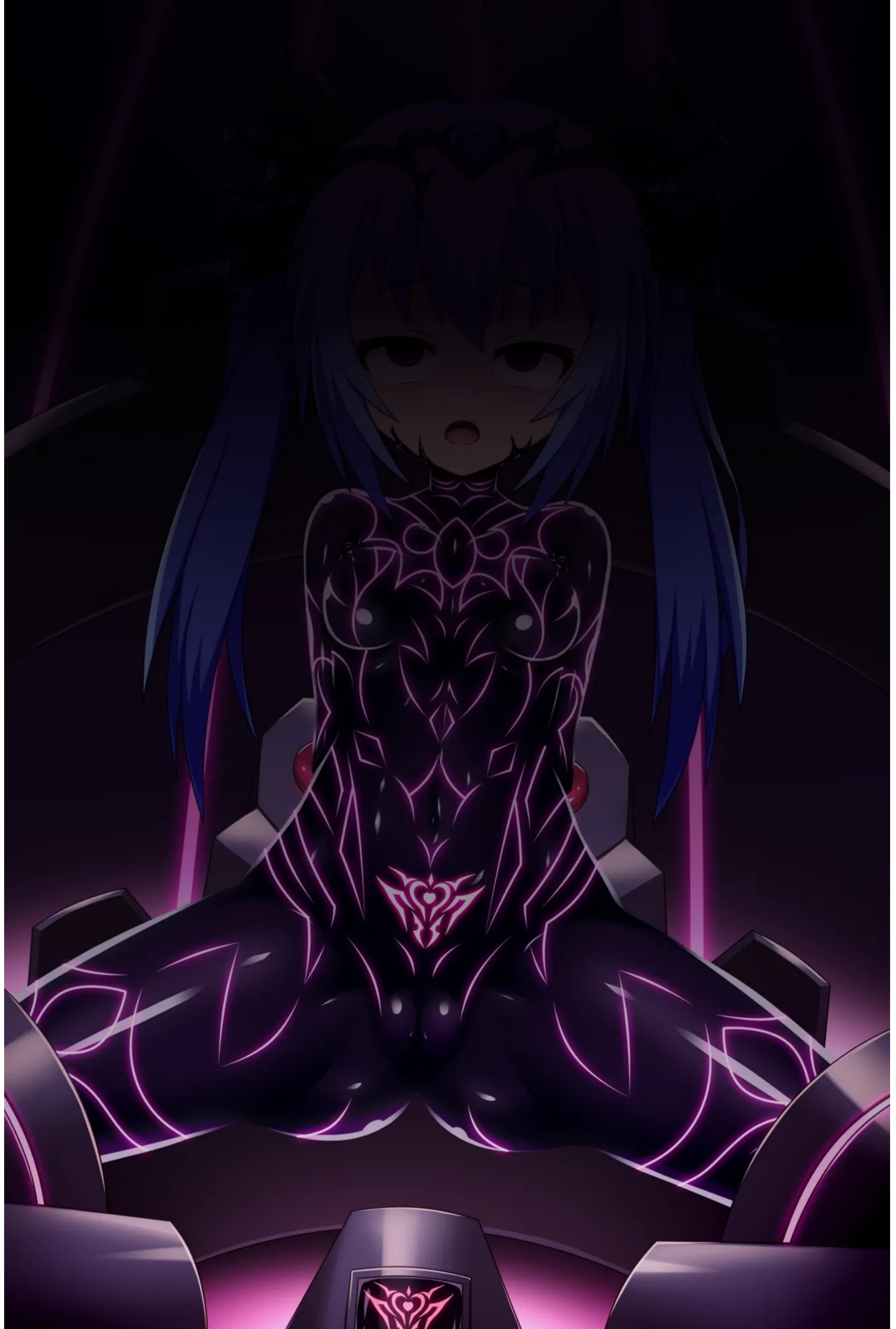
「もっと 戻れなくなる……っ
か、変わりたいくない!!」

「♡……す……す……♡」



「あああああつ♡♡♡」

「あああああああああああああ♡♡♡」



全身を覆っていた魔力が形を成し、
コラプスの奴隷として相応しい新たな魔法服を形作る。

シャドウの闇を取り込んだことで悪魔のような翼や尻尾が生え、
首には隷属の証である首輪が光る。

ラバーのような光沢の衣装は乳首やクリトリスにまで
ぴっちり張り付いて、その形を浮かび上がらせる。

“ご主人様”に媚びる事だけに特化したその姿は、
アクアが先ほどまでとは決定的に異なる存在となってしまうことを
無慈悲かつ淫靡に表していた。



「ふふっ

まさか正気を取り戻しかけるなんて…」

「でも、無駄だったわね？」

「えへへ…はあい…♡

洗脳も闇の魔力もお…完全に定着しましたあ♡」

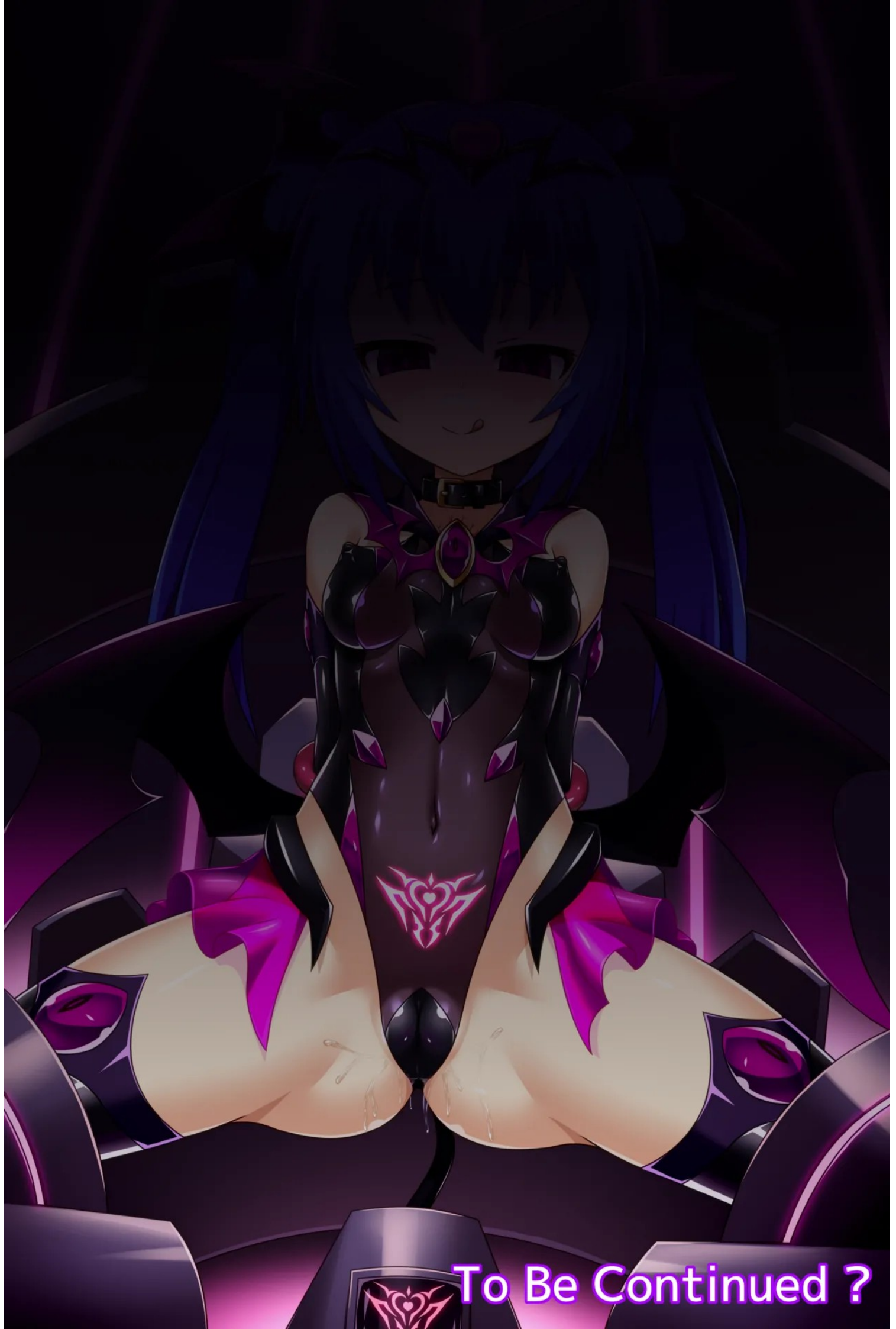
「愚かにも最後まで反抗しようとする

私の心を消していただき…ありがとっ♡♡♡」

「ルミナスアクア改めコラプトアクア、
これよりご主人様の忠実なる僕として仕えさせていただきます…」

「どっどっど命令を、
任務でもご奉仕でもなんなりとお任せくださいませ♡」





To Be Continued ?























